

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年 11月18日掲載

1年1組 岡本一真

僕は郡市駅伝大会に出場して学んだことがあります。

9月の郡市陸上大会に向けて、僕は夏休みから毎日練習に取り組んできました。しかし直前の練習でも記録が伸びず、大会に選手として出ることはできませんでした。

しかし、県の陸上大会に補欠として連れて行ってもらい、県の高いレベルを目にし、もっとがんばらないといけないと思いました。

県の陸上大会後、駅伝大会に向けて練習が始まりました。陸上大会から気持ちを切り替えて、朝練、放課後の練習に励みました。しかし、実際のコースを走る最初の試走では、レギュラーメンバーには選ばれず、タイムは一緒に走った人の中でも一番遅いタイムでした。駅伝に出るのは無理かなと思いましたが、練習の時には気持ちを切り替え、一生懸命頑張りぬこうと決めました。毎日の練習で自分に挑んでいく中でタイムは少しずつ速くなっていき、最後の試走では4区3キロを10分46秒で走ることができました。しかし、本番は出場できないかもしれないと思っていました。

しかし、本番の前日に今まで1度もきちんと走ったことのない5区を走ることになりました。目標タイムで完走できるか心配だったけれど、アップを十分にしておいて、自信をもって走ることができました。1人に追い越されてしまったけれど、初めてのコースを走りきることができてよかったです。

最後まであきらめず頑張ったよかったと思いました。